

4 ともに学びあえる生涯学習を進める

(1) 生涯学習活動を支援する

●支援体制の整備

区では、区民の生涯学習を推進するため、平成7年2月に「練馬区生涯学習推進計画」を策定し、「学びのまち ねりま」の実現に努めてきた。その後、13年度には、「練馬区長期総合計画」に基づき、「練馬区生涯学習推進計画」の理念を受け継ぎつつ、生涯学習活動の支援に重点を移した「練馬区生涯学習支援プラン21（第1期）ー生涯学習によるまちづくりプランー」（13年度～15年度）を、16年3月には、「練馬区生涯学習支援プラン21（第2期）ー学びから学びあいへの支援をめざしてー」（16年度～18年度）を策定した。これらのプランにより、区民や生涯学習関連団体等が行う自主的な生涯学習・スポーツ活動が豊かに展開できるよう、その支援体制の整備を進めてきた。

19年2月には、生涯学習支援体制の整備に関する行政計画の最終期として、「練馬区生涯学習支援プラン21（第3期）」（19年度～22年度）を策定した。このプランでは、区民の主体的な学習要求である「知りたい・深めたい・活かしたい」という「学びの循環」を活性化するための3つの視点を「伝える・整える・託す」と定め、区民支援の諸事業を21の支援目標で体系化している。このような「学びの循環」を通して、「学び」が深まり続けるとともに、その「学び」が単に個人の中で完結することなく、人と人との結びつきを深める「学びあい」にまで進むことを願い、「ーともに学びあえる生涯学習を進めるー」を副題にして施策を推進している。

22年度は、「練馬区基本構想」および「練馬区長期計画（22年度～26年度）」が21年度に策定されたことから、23年度を初年度とする区の総合的な生涯学習推進に関する計画の策定に取り組む。

●生涯学習団体の育成

生涯学習団体は、芸術・文化、市民生活、社会教育、子育て、健康、福祉、レクリエーション、スポーツ等、様々な分野で自主的な学習・スポーツ活動を展開している。平成22年3月31日現在、1,934団体が、教育委員会に届出されている。（従来の社会教育関係団体登録制度と社会体育団体登録制度は、廃止・統合され、13年4月1日から新たに、生涯学習団体届出制度となった。）

区では、これらの団体の求めに応じて指導・助言をするほか、団体の学習・スポーツ活動をより広く情報提供するため、届出名簿一覧表を閲覧できるようにしている。

●区民参加と交流の促進

子育て・子どもの教育をテーマとした講座（子育て学習講座）や、子どもたちがいろいろな遊びや体験・学習等を行う講座（ねりま遊遊スクール）の企画運営をPTA・生涯学習団体・NPO等に委託し実施することにより、区民参加と地域の教育力向上を図るとともに、週末における子どもたちの居場所の一つとしている。

●学習・スポーツの機会の充実

1 子育て学習講座

地域や家庭における子育てや子どもの教育は、人格形成の上で、大変重要である。PTA等の地域で活動している団体に、子育てや子どもの教育に関する様々な課題等を学習する場として企画・運営を委託し実施している。平成21年度は、85講座実施し、延べ2,623人が参加した。

2 ねりま遊遊スクール（子どもの居場所づくり）

放課後や休日などに、学校や公共施設等を会場に、子どもたちがいろいろな遊びや体験活動・学習の機会を得るための場として、地域で活動している団体に企画・運営を委託している。21年度は、441講座実施し、延べ13,619人が参加した。

3 ねりま遊遊スクール（子どもによる講座づくり）

中学・高校生が自ら講座の企画運営にかかわることで、その自主性を育むとともに、地域における小学生と中学・高校生の交流を図るために、14年度から団体に委託し、実施している。21年度は、13講座実施し、延べ216人が参加した。

4 子ども安全学習講座

子どもが安全に、かつ安心して生活するために、子ども自身が犯罪や災害などの危険から身を守る方法を学んだり、大人が子どもの安全に関する知識を習得する講座である。

地域で活動している団体に企画・運営を委託している。21年度は、8講座実施し、延べ352人が参加した。

5 珠算コンクール

珠算の技術向上と発展を図るため、小・中学生を対象に、練馬区珠算教育連盟との共催で、年1回珠算大会を開催している。21年度は、166人が参加した。

6 人権学習

現代社会の様々な人権問題に関する学習を、生涯各期にわたり推進するため、人権講座を開催している。21年度は、14回実施し、延べ778人が参加した。

7 武蔵大学特別聴講生

武蔵大学に4月から翌年3月までの1年間、一般の学生と一緒に授業を聴講する特別聴講生を派遣している。

修了後、ボランティア活動を行う意志があることを条件に、聴講料の一部を練馬区と武蔵大学で負担している。21年度は、31人の聴講生を派遣した。

●区民発出前講座

様々な趣味や特技を持つ区民・団体に、講座の企画内容を登録してもらい、地域の団体・サークルに講師として紹介している。平成13年6月に講座登録を開始し、22年3月31日現在で、105講座が登録されている。

●情報教育推進事業

情報機器や情報通信ネットワークが普及していく中で、情報を収集し正しく判断する能力や、自ら情報を発信していく能力の育成およびインターネットなどを悪用した犯罪等に対処できる情報能力を育成する。21年度は、10回実施し、延べ441人が参加した。

●学習情報の提供・相談活動の推進

区民の生涯学習活動を支援するため、毎年「学習・文化ガイドブック」および「スポーツガイドブック」を発行するとともに、平成14年2月から区ホームページに、「ねりまの生涯学習」を開設し、生涯学習の施設、事業計画・事業案内等、最新の情報を提供している。また、生涯学習の相談やアドバイスなども行っている。

●学校施設の地域開放推進

学校教育に支障のない範囲で、学校が地域の核として健全で豊かなコミュニティづくりの場となることを目指して、地域住民の学習・文化・レクリエーション・スポーツ活動の場として、学校施設を開放している。また、児童の健全育成を目的に区立小学校の校庭を遊び場・スポーツの場として開放している。施設開放は、当該校と地域の住民による学校開放運営委員会や学校応援団に学校開放事業の運営を委託しているほか、学校への事前申請にもとづき、区民の一般利用に開放している。

1 校庭開放

平成22年3月31日現在、区立全小学校（69校）の校庭を、地域の子どもたちの健全な遊び場、スポーツの場として開放している。

21年度は、1校当たり1日平均47.8人、年間では全校で延べ1,084,485人の利用があった。内訳は、63.0%が個人利用、37.0%が少年スポーツ団体などの利用であった。

2 学校図書館開放

子どもを主とした地域住民に対して、区立小学校図書館（室）を開放し、図書の貸出しと読書・学習の場を提供している。

22年3月31日現在、44校を開放し、蔵書数は296,314冊である。また、21年度は延べ189,212人の利用があり、64,119冊を貸し出した。

また、13年度から、区立図書館から離れた場所にある学校開放図書館に、区立図書館資料の検索ができる端末を設置し、21年度末時点では、5校で予約・貸出を

実施している。21年度は3,670冊の貸出しがあった。

3 教室開放

区立小学校の余裕教室を活用して整備した開放用施設を、地域住民の身近な学習・文化・レクリエーション活動の場として開放している。

22年3月31日現在、22校で54施設を開放している。21年度は4,046件、延べ74,249人の利用があった。

4 学校体育施設の開放

区民がスポーツ活動を身近に行える場として、区立学校体育施設（体育館・プール）の開放を行っている。これは区民の体力増進や、健康管理のために場を提供するだけでなく、スポーツを通じて、学校が地域の核として健全で豊かなコミュニティづくりの場となることを目指すものである。

21年度の学校体育館開放は、37校の小中学校で実施し、延べ211,838人が利用した。また、プール開放は9校の小学校（ただし夏休み期間中のみ）で、延べ6,211人が利用した。

5 学校施設の一般利用

学校開放運営委員会や学校応援団による施設開放のほか、区立の全小・中学校の学校施設を、学校教育に支障のない範囲で、学校への事前申請にもとづき、区民の一般利用に提供している。

提供する施設は、校庭、屋内運動場、教室などのほか、中学校18校に設置済みの第二屋内運動場（格技室）や開進第二中学校と大泉中学校に設置しているセミナーハウスがある。

●総合教育センターの生涯学習事業

昭和55年に開設された総合教育センターでは、区の生涯学習活動の拠点のひとつとして、つぎのような事業を行っている。

1 催物

平成21年度に実施した催物は、下表のとおりである。

区民囲碁大会・将棋大会は、それぞれ年1回の開催であり、初心者から有段者まで老若男女を問わず楽しく腕を競っている。

総合教育センターの催物		平成21年度
事業名		参加者
		人
子ども映画会	12回	延べ122
区民囲碁大会	1回	120
区民将棋大会	1回	113

2 ジュニア・オーケストラ

小学4年生から18歳までの少年少女を団員として、オーケストラ練習を行い、学校演奏会と定期演奏会をそれぞれ年1回開催している。22年4月現在の団員は71人である。

3 弦楽体験教室

小学4年生から中学生で弦楽器の初心者を対象に、夏季期間中に全9回で1コースの体験教室を開催した。21年度は、28人が参加した。

4 16ミリフィルム等の貸出

22年3月31日現在、学校教育や社会教育、昔話などのアニメーション等1,571巻を所蔵している。

21年度は、幼稚園、保育園を中心に67件で303点の貸出しがあった。

●公民館

練馬公民館は、昭和28年開館以来、区民大学、寿大学等の各種講座の開催や、自主的な学習・文化活動の場の提供などを通じて、練馬区の生涯学習の中心的施設として区民に親しまれてきた。

近年は、ボランティアとの協働・参画型事業に力を入れており、練馬区文化団体協議会加盟団体との共催講座、区民団体との協働講座、公募区民による料理講座などの各種「公民館サポーターズ講座」を充実させている。

公民館はこれからも、区民と区民を結ぶ場として、また区民の力を地域に生かしていくための拠点としての役割を果たしていきたいと考えている。

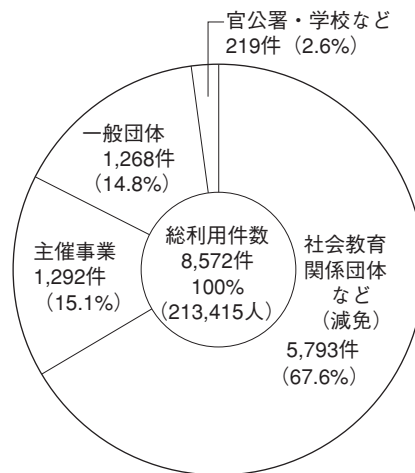
また、貸出施設は区内全域の区民団体の利用があり、年間平均の利用率は65%に達している。

公民館の事業実施状況 平成21年度

事業名	実施状況
区民大学	13講座、延べ2,473人受講
寿大学	65歳以上対象 年2回、延べ3,884人受講
寿大学通信講座	60歳以上対象 書道・俳句の2科目、 延べ6,471人受講
寿大学通信講座	講師による直接指導 年3回、延べ210人受講
スクーリング	年1回、231人出品
寿大学通信講座	
書き初め展	
児童合唱団	毎週土曜日練習 演奏会4回
視聴覚事業	名画鑑賞会、こどもえいがかい 43回、延べ4,310人入場
サークル文化祭	年1回、延べ2,040人入場
区民文化祭	年1回、延べ12,409人参加
芸術鑑賞会	年7回、延べ1,653人入場
公開講座	7講座(大学5校、高校1校) 延べ868人受講
国際理解推進講座	1講座、延べ545人受講
サポーターズ講座	料理講座16講座、一般講座12講座、 延べ2,380人受講

公民館の利用状況

平成21年度



●美術館

練馬区立美術館は、区民の美術に関する知識および教養の向上を図ることを目的に、昭和60年10月に開館した。

美術館の事業運営についての幅広い意見を反映させる場として、美術館運営協議会を設置している。この協議会は、美術に関する学識経験者、美術作家および社会教育・学校教育関係者等で構成され、美術館の運営方針や事業計画を中心に協議を行っている。

1 展示事業

(1) 企画展

美術に関する調査に基づき日本の近・現代美術をテーマとした自主企画の展覧会を平成21年度は5回開催した。

企画展 平成21年度

展覧会名	会期	内容	観覧者数
現代の水墨画 2009 水墨表現の現在地点	4/21~5/31 36日間	水墨画の新たな可能性と墨のもつ現代的な意義を探るものとして、富山県水墨美術館と共同開催した展覧会。水墨による様々な表現の可能性を真摯に追究している作家のなかから特に優れた業績を残し、今日さらに目ざましい活動を展開している11人の作家の近作と新作約30点を紹介した。出品作家は、浅見貴子、伊藤彬、尾長良範、呉一駿、田中みぎわ、中野嘉之、箱崎睦昌、正木康子、マツダジュンイチ、三瀬夏之介、八木幾朗(敬称略、五十音順)。うち6人の作家によるアーティストトークと、関連ワークショップを実施した。また、練馬区ゆかりの作家、五味康祐氏の遺品のパーゼンドルファ社のピアノにより、ピアノライブを行った。	4,100人
コレクションによる企画展 「絵画の、あつまりー日本の絵画はうすっぺらか?」	7/25~8/23 26日間	当館コレクションの中から、様々な絵画の厚みに視点を向けた展覧会を開催した。展示室を暗めにし、懐中電灯で自由に光をあてられるようにしたり、普段は見ることのできない絵画の裏側を見せるなど、これまでになく展示を行った。また、ロビーのガラス窓には吉田曉子氏の新作インスタレーションを展示した。会期中、絵画の厚みに関連したワークショップを開催した。いずれも多数の応募をいただき、好評のうちに終えることができた。	5,527人

小野木学 一ナヤミタネー 展	9/5～ 11/8 56日間	1955年から亡くなる1976年までの21年間、練馬区にアトリエを構えた小野木学(おのぎ・がく 1924-76)のパステル画・水彩画を中心とした回顧展を開催した。講談社から出版されたエッセイ集『ナヤミタネ』に収録されたパステル画は、ほとんどが練馬区立美術館に所蔵されている。企画展示室1には主にパステル画、企画展示室2には油彩画(代表作の「風景」シリーズ)を展示し、これまでの回顧展と異なりテーマを限定した構成とした。展示室付近にアンケートを設置し、来館者には概ね好評であった。会期中、「ナヤミタネ」の筆者であり、小野木氏の甥にあたる上矢津(かみや・しん 美術家)氏のトークや、打楽器ユニットによる、展覧会をイメージしたライブを開催した。	2,537
菅原健彦展	11/15～ 12/27 36日間	1962年練馬区に生まれ、多摩美術大学に学んだ菅原健彦の、画業20年を節目として開催した展覧会。岡崎市美術館、練馬区立美術館、日本経済新聞社の共同企画により開催した。美大卒業制作から水墨による近作、さらにこの展覧会のために新たに制作された「雲龍図」「雷龍図」まで約40点を紹介した。会期中、菅原氏本人によるアーティストトークを開催。終了後に、サインを求める列ができるなど好評であった。また、チェロによるギャラリートークを行った。	6,011
コレクション展 ゲンダイビジュツ ドウ? 道	2/21～ 3/28 31日間	2007年に開催した企画展「賛美小舎 上田コレクション」で出展した多くの作品を、上田國昭・克子夫妻から寄贈いただいた。それらの中から、石原友明、岡村桂三郎、小野友三、小滝雅道、斎藤典彦、新恵美佐子、須田悦弘、諏訪直樹、園家誠二、舟越直木、間島秀徳、山本直彰、湯浅龍平、湯川雅紀(敬称略、五十音順)ら、激動の時代と帆走するに己の信じる道を走り続けてきた画家・彫刻家の作品を紹介した。会期中、6人の作家によるトークを行なった。また、関連ワークショップを実施した。	1,499

(2) コレクション展

企画展以外の期間に美術館の収蔵作品からテーマを決めて特集展示している。

(3) 「子どもワークショップ2009」展

たんけん！ ぼくのわたしの美術館

「複数の人間が時間と場を共有し能動的な視点を獲得する」という「ワークショップ」の一定義を借り、これに沿った展示を行った。作家による作品の展示はせず、未知の世界に赴き開拓する「探検」を子どもたちが美術の世界へ踏み出すことになぞらえ、「観る」こと自体への興味を引き出すために館内の「探検」「調査」を楽しむ、参加型の作りとした。

(4) 教育委員会主催展

区内在住の美術家協会会員の作品を紹介するため、毎年1回「練馬区美術家協会展」を開催している。21年度の出品点数は67点であった。

「練馬区民美術展」は区民の日ごろの創作活動を発表する場として開催するもので、21年度は291点の出品があった。

(5) 展示室等の貸出し

区民などの創作発表の場として一般展示室を開放し、企画展示室についても美術館の主催事業に支障のない6月と7月の一部に貸出しをしている。また、サークルの

創作活動のために創作室の貸出しも行っている。

2 教育普及事業

展覧会関連講座をはじめ、各種講座やワークショップを実施している。また、「スクールプログラム」による団体鑑賞や職場体験等の受け入れ、小・中学校の先生を対象に学芸員による作品解説を行うティーチャーズデイの実施、鑑賞学習教材の貸出しなど、学校との連携を深めている。

講座開設状況		平成21年度	
講座名		回数(回)	受講人数(人)
展覧会 関連講座	ワークショップ・講座	15	187
	ギャラリートーク	30	1,247
	コンサート	3	345
	子ども向け鑑賞プログラム	6	43
美術講座		8	161
美術館を楽しむワークショップ		5	66
スクール プログラム	団体鑑賞	3	52
	施設見学	2	182
	職場体験	7	17
ティーチャーズデイ		4	45
合計		83	2,345

3 資料収集事業

練馬区にゆかりのある優れた作品の収集を行うとともに、幅広い視野から近・現代の優れた美術作品を系統的に収集している。21年度は、寄贈163点があり、全所蔵数は2,072点になった。

●少年自然の家

少年自然の家は、恵まれた自然環境の中での集団宿泊生活を通じ、少年たちの創意と活力あふれる人間形成を図るとともに、区民の健全な余暇活動に役立てるため設置されている。

少年自然の家にはベルデ(スペイン語で「みどり」という意味)という愛称が付いており、浅間山の麓(ふもと)にベルデ軽井沢、伊豆下田にベルデ下田、美ヶ原高原の麓にベルデ武石、内房岩井海岸にベルデ岩井がある。

小・中学校の移動教室、中学校の臨海・林間学校に利用されているほか、夏・冬休みを中心に区内の少年団体や区民にも広く利用されている。また、ベルデ武石には新館を開設し、区民の保養利用の充実を図っている。

少年自然の家の利用状況		平成21年度
施設名		利用者数
		人
軽井沢少年自然の家(ベルデ軽井沢)		36,269
下田少年自然の家(ベルデ下田)		14,590
武石少年自然の家(ベルデ武石) [本館]		19,646
[新館]		6,909
岩井少年自然の家(ベルデ岩井)		18,237
計		95,651

注：小・中学校の校外授業、少年団体や区民の総利用者数である。

●他地域との交流の促進

区では、昭和55年に区立武石少年自然の家を開設して以来、長野県武石村（現上田市武石）と小・中学生の施設利用を中心とした交流を進めてきた。

平成6年11月に、武石少年自然の家新館の開設にあたり、「友好提携に関する合意書」の調印を行った。

18年3月に武石村を含む4市町村の合併で新たになった上田市と、同年8月に友好交流を継続するにあたり、「友好提携に関する合意書」の調印を改めて行った。

(2) 読書活動を推進する

●図書館

様々な制度の変化や技術の革新が急速に進む現代社会においては、学生時代に学んだ知識では不十分であり、社会人になった後でも新たな知識を常に学習していくことが必要となっている。さらに、雇用制度や雇用形態の多様化により、職業上の知識や技術を新たに学習することも必要になっている。また、急速な高齢化が進む中で、高齢者が長きにわたる人生をより豊かで有意義に過ごすためには、そのための知識や情報も必要となっている。こうした生涯にわたる学習をどのように支えていくかが、図書館に問われている。

これまでの図書館は、利用者の読書支援を中心とするサービスであった。しかし、社会の変化や生涯学習社会の中で、図書館が果たす新しい役割として、ビジネス、子育て、住民活動など、人々の生活や仕事の上で必要な資料や情報を提供するなどの支援が求められる。

そのため、図書館では地域の情報拠点として、こうした資料の収集・提供を充実するとともに、これまでの貸出しやリクエストサービスに加えて、利用者が求めている資料を的確に探し出し、調査や学習を手助けするためのレファレンスサービスを重要なサービスとして位置付け、その充実を図っていく。

1 施設の充実

図書館利用者の利便性の拡充を図るため、12館目となる南田中図書館を南田中小学校の拡張用地内に建設し、平成21年5月に開館した。

また、18年2月には、図書館資料の返却および予約資料の受取窓口を総合教育センター内（高野台2）に開設した。

そのほか、区立小学校の開放図書館5校に区立図書館の図書館を検索・予約できるパソコンを設置している。

2 図書等資料の充実

東京都公立図書館調査（20年度実績）によれば、個人貸出点数は23区中第2位、予約点数は第2位となっている。とりわけ15年から開始した図書館ホームページによる予約サービスにより、予約が飛躍的に増加している。練馬区はこのように図書館の利用が多い一方、

人口1人当たりで見ると所蔵資料数は23区中22位と低位に位置している。

これらの状況を改善するため、18年度からの3か年で全館に導入した窓口等業務委託によって生み出した財源の活用などにより、所蔵資料数を増やし、同時に書架等の整備による収蔵力の充実を図っていく。

3 開館日・開館時間の拡大

開館日の拡大については、18年4月から祝日の振替休日、5月4日、12月28日の開館を実施した。20年4月からは、休館日である月曜を各館ごとに月に1回開館することとした。

開館時間については、窓口等業務委託を導入した館から、順次開館時間の延長（平日1時間、土・日・祝休日2時間）を実施し、20年4月からはすべての館で平日は午後8時、土・日・祝休日は午後7時まで開館している。

4 子どもの読書活動の推進

区立図書館では、21年3月に「練馬区子ども読書活動推進計画（第二次）」を策定し、練馬区の子どもたちが読書の楽しさや素晴らしさを知り、たくさんの本と出会えるように、区を挙げての様々な取組を進めている。

こうした取組を通して、読書意欲を喚起し、読書環境を整備することで、子どもの読書活動が充実するように支援を行っている。

区立図書館では、絵本や紙芝居、図鑑や読み物などを豊富に所蔵した児童コーナーを設置しており、児童向けのおはなし会、おたのしみ会などの多彩な催しを行っている。中高校生向けとしては、青少年コーナーを全館に設置し、読書活動の推進と居場所の提供に取り組んでいる。

また、親子のふれあいと、本への親しみを深める活動として、（保健相談所で行う4か月児健診時に案内し）図書館で保護者に絵本等を手渡すブックスタート事業への取組（21年度4,307セットを配布）や、児童に無償で図書の貸出し等を行っている地域文庫等への本の助成（19団体979冊）、会場に用意した様々な本の中からクイズの答えを見つけ出す参加型イベント「本の探検ラリー」事業を実施している。

子どもたちの読書活動を推進していくため、学校への団体貸出や調べ学習の受入れ、ブックトーク、学校等の教職員を対象とした読書活動の講習会などの支援を実施している。21年5月に開館した南田中図書館では、南田中小学校の敷地内に設置されている図書館という特色を生かし、近隣小・中学校6校に対し、学校支援モデル事業を実施している。この事業では、6校の学校図書館に学校図書館支援員を配置し、各校の学校図書館運営計画に基づき、調べ学習の支援や学校図書館資料の選定に対する助言・整理の一層の充実などを行っている。また、ブックスタート事業や本の探検ラリーで

図書館の利用状況等

平成21年度

種別	館名															合計
	光が丘	練馬	石神井	平和台	大泉	関町	貫井	稲荷山	小竹	南大泉	春日町	南田中	各館合計	高野台窓口		
個人利用登録者数(人)	49,337	33,924	25,934	19,771	22,932	17,710	24,891	8,925	13,999	15,607	13,932	3,423	250,385	—	250,385	
団体利用登録者数(団体)	162	81	38	153	70	91	35	41	43	43	35	55	847	—	847	
貸出数	個人貸出点数(点)	1,249,742	694,842	219,966	502,819	644,745	493,360	593,711	242,795	395,858	638,284	542,752	472,507	6,691,381	30,669	6,722,050
	図書(冊)	1,034,849	572,822	176,885	422,868	554,602	406,992	490,033	203,301	309,174	554,605	455,445	400,167	5,581,743	25,250	5,606,993
	点字図書・録音図書(組)	1,187	620	5	876	235	145	94	—	—	—	—	—	3,162	—	3,162
	雑誌(冊)	61,576	25,316	9,159	23,031	18,550	21,148	26,117	16,254	15,995	25,370	23,864	8,839	275,219	1,059	276,278
	点字雑誌・録音雑誌(組)	3,783	36	111	489	459	192	432	—	—	—	—	—	5,502	—	5,502
	CD、カセットテープ、レコード(組)	139,872	95,723	33,619	55,237	70,190	64,571	76,746	22,991	70,364	58,050	63,157	63,342	813,862	4,322	818,184
	公共・一般ビデオ、その他(組)	7,978	325	186	277	334	289	283	249	325	259	286	159	10,950	38	10,988
	視覚障害者用CD、カセットテープ(組)	497	—	1	41	375	23	6	—	—	—	—	—	943	—	943
	個人貸出者数(人)	478,619	269,053	99,345	185,625	232,649	178,805	244,433	83,132	148,876	213,307	215,611	169,531	2,518,986	15,560	2,534,546
	団体貸出点数(点)	5,779	8,784	2,579	9,680	5,970	4,352	2,347	5,214	10,239	3,012	2,494	8,777	69,227	—	69,227
協力貸出点数(点)	3,743	722	690	575	880	611	1,384	601	574	828	842	96	11,546	—	11,546	
貸出予約数	個人貸出予約数(点)	282,418	216,969	135,952	145,392	169,331	157,904	197,712	54,416	132,240	147,846	138,060	78,062	1,856,302	30,243	1,886,545
	図書等(冊)	222,535	166,451	107,986	115,043	130,090	117,598	151,832	41,792	92,841	113,642	109,102	62,438	1,431,350	24,527	1,455,877
	雑誌等(冊)	14,183	8,670	5,817	7,057	8,570	5,726	9,303	3,300	6,534	7,668	8,049	3,153	88,030	1,097	89,127
	CD、ビデオ等(点)	45,700	41,848	22,149	23,292	30,671	34,580	36,577	9,324	32,865	26,536	20,909	12,471	336,922	4,619	341,541
	団体貸出予約数(点)	1,659	588	2,505	1,338	902	1,438	683	3,287	2,473	913	1,379	1,334	18,499	—	18,499
協力貸出予約数(点)	1,866	654	708	540	895	613	1,409	605	593	836	861	98	9,678	—	9,678	
対面朗読数(時間)	44	175	—	8	90	44	346	—	—	—	507	—	1,214	—	1,214	
会議室利用数(回)	244	168	—	9	75	—	—	4	19	—	283	26	828	—	828	
視聴覚室利用数(回)	106	—	—	91	22	117	263	—	—	—	—	—	599	—	599	
ギャラリー利用数(日)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	69	—	69	—	69	
図書館開館日数(日)	313	315	312	314	315	314	315	314	315	314	315	288	3,744	—	3,744	

※光が丘には外出困難障害者郵送サービス分を含む

催し物

平成21年度

催し物名	実施回数等	参加者数
よみきかせ・おはなし会	645回	11,283人
おたのしみ会	23回	1,429人
人形劇	9回	587人
児童映画会	22回	1,077人
昆虫教室(稲荷山図書館)	3回	70人
本の探検ラリー(図書館)	2館	324人
本の探検ラリー(小学校)	26校	2,378人
手づくり講習会	1回	47人
学校、施設教職員講習会	1回	35人
よみきかせ講習会	5回	209人
展示特集	2回	52人
工作会	6回	112人
講演会	2回	130人
布の絵本講習会	延べ12回	延べ185人
中級音訳講習会	6回	144人
校正講習会	4回	96人

図書館情報化サービス利用状況

平成21年度

利用者開放用端末利用者数	36台	94,004人
利用パスワード登録者数		86,466人
Eメールアドレス登録者数		63,391人
インターネット資料予約点数		1,341,722点
図書館情報ボックス利用件数		96,357件

(3) スポーツ活動を推進する

●スポーツの機会の充実

区は、区民の誰もが、それぞれの体力や年齢・技術・興味・目的に応じて、身近な地域で「いつでもどこでも いつまでも」スポーツに親しめる豊かであるおいのある生涯スポーツ社会の実現と、スポーツが盛んな、活気あふれるまち“ねりま”をめざし、平成21年3月に「練馬区スポーツ振興基本計画」（21年度～25年度）を策定した。

区民が生涯にわたって、いきいきとスポーツ活動を続けるためには、活動の場の整備と活動の機会の提供が必要なことは言うまでもない。そのため、区では、初心者のためのスポーツ教室や、各種の競技会、野外活動など多くの事業を区民に提供している。

今後も、より身近な地域で、多くの区民がスポーツに親しむ機会を、充実していく必要がある。

スポーツ事業

平成21年度

区 分	内容および参加人数		
各 種 大 会	区民体育大会	34種目 総合開会式	20,801人 616人
	都民体育大会	32種目	717人
	都民生涯スポーツ大会	14種目	177人
	城北地区競技会	6種目	312人
	少年野球大会	66チーム	1,156人
	女性スポーツ大会	3種目	1,593人
	都民スポレクふれあい大会	3種目	53人
野 外 活 動	区民歩行会	7月11・12日実施 八島ヶ原湿原・上高地 10月24・25日実施 菅平高原・軽井沢	176人 177人
	わんぱくキャンプ	7月31日～8月2日実施 武石栗栗キャンプ場	62人
ス ポ ー ツ 教 室	30種目 73教室	6,278人	
夏 休 み 水 泳 教 室	2校	199人	
少 年 少 女 ス ポ ー ツ ふ れ あ い ひ ろ ば	2月20日実施	430人	
体 育 の 日 記 念 行 事	10月12日実施 総合体育館ほか 7会場	11,879人	

●地域スポーツ指導者の育成

区には、平成22年3月31日現在1,308の生涯学習スポーツ団体が届出をして活動している。一方では、スポーツをやりたくてもその方法が分からない区民も数多くいる。

区では、区民の多様なスポーツへの要望に応じられるよう、また、生涯スポーツの日常化を目指すスポーツクラブの育成のために、資質の高い指導者の育成と確保に努めている。

1 体育指導委員

区民の要望に応じて、地域スポーツの振興を図るため、スポーツに関する指導、助言を行うことを主目的に、43人（22年3月31日現在）の体育指導委員を委嘱している。

主な日常活動として、地域に向けて、様々なスポーツイベントを企画・実施し、スポーツ振興を図っている。さらに、区民に開放している小・中学校体育館の管理運営やスポーツサークル等の育成・指導等もしている。このほか区民歩行会、わんぱくキャンプ、夏休み水泳教室等の指導員としても活躍している。

2 スポーツリーダー養成講習会

スポーツ指導者は、専門知識や経験に基づく高い指導能力が求められる。

区民の様々な要望に応えられる指導者の育成・確保を図るため、区では、スポーツリーダー養成講習会を開き、修了者に対して認定を行っている。

種目別生涯学習スポーツ団体届出数 平成22年3月31日現在

種 目	団体数	
球 技	バレーボール	152
	バドミントン	92
	卓球	100
	バスケットボール	89
	キャッチバレーボール	37
	野球	57
	ソフトボール	38
	サッカー	106
	テニス	44
	その他（球技）	11
水 泳	水泳	95
	その他	8
体 操	体操	70
	エアロビクス	22
	その他	57
武 道	剣道	42
	空手	26
	合気道	19
	その他（武道）	29
ダ ン ス	社交ダンス	45
	フォークダンス	16
	その他（ダンス）	58
そ の 他	野外活動	27
	ニュースポーツ	49
	その他	19
合 計	1,308	

種目別スポーツリーダー数

平成22年3月31日現在

種目	計
バレーボール	18
バドミントン	62
卓球	56
水泳	134
陸上	4
サッカー	2
テニス	1
ソフトボール	6
野外活動	1
ダンス	7
軽スポーツ	6
バウンドテニス	3
体操	29
健康トレーニング	2
クラブコーディネーター	91
ペタング	15
ソフトバレーボール	29
グラウンド・ゴルフ	16
インディアアカ	29
ラケットテニス	10
ターゲット・バードゴルフ	8
カヌー	3
スポーツチャンバラ	4
ウォーキング	67
ユニバーサルホッケー	5
フットサル	36
ティーボール	5
チュックボール	11
水中運動	31
エコジョースポーツ	2
合計	693

注：複数種目登録者を含む

●スポーツ施設の整備

区民のスポーツ活動参加を促進するためには、まずスポーツ施設の整備を図り、活動の場を確保することが必要である。

平成22年3月31日現在、区のスポーツ施設は、体育館7館、プール7か所、成人野球場6面、少年野球場5面、少年野球場兼グラウンド1面、テニスコート27面、多目的運動場1面、陸上競技場1面、ゲートボール場2面、多目的広場3か所、スポーツ広場2か所である。

しかし、施設は区の人口に比較し十分とはいえない状況であり、今後もスポーツ施設の整備・充実を図る必要がある。

屋外施設利用状況

平成21年度

区分	施設名	件数
成人野球場	学田公園	1
	高野台	1
	北大泉	2
	東台	2
	計	2,937
少年野球場	練馬総合運動場	2
	大泉学園少年野球場	1
	日本銀行石神井運動場	1
	荒川河川敷野球場(硬式少年野球)	2
庭球場	豊玉中公園	3
	高野台	4
	びくに公園	2
	土支田	7
	夏の雲公園	4
	日本銀行石神井運動場	7
	計	24,580
陸上競技場(サッカー等)	練馬総合運動場	1
ゲートボール場	練馬総合運動場	2
個人利用	大泉さくら運動公園多目的運動場	79
	練馬総合運動場	13,579
ラグビー	大泉さくら運動公園多目的運動場	20
サッカー	大泉さくら運動公園多目的運動場	921
	日本銀行石神井運動場(少年サッカー)	70
ニュースポーツ	大泉さくら運動公園多目的運動場	98
	日本銀行石神井運動場	106
	びくに公園多目的広場	277
	夏の雲公園多目的広場	—
	総合体育館東側多目的広場	44
	やまなみ公園多目的運動広場	—
	南大泉第二スポーツ広場	1,954

注：日本銀行石神井運動場は、区が施設の一部を借用している。

件数について、練馬総合運動場は時間で集計している。

体育館の利用状況

平成21年度

区分	施設名	平成21年度						
		総合体育館	桜台体育館	平和台体育館	光が丘体育館	上石神井体育館	大泉学園町体育館	中村南スポーツ交流センター
		人	人	人	人	人	人	人
個人利用		44,669	9,225	17,525	37,755	48,725	53,261	37,043
団体利用		55,527	30,832	8,093	29,727	32,961	29,095	24,133
トレーニング室		11,894	—	5,568	47,218	18,398	29,881	56,031
連盟主催大会等		33,253	395	1,493	15,283	395	5,215	4,743
教室・大会等		23,221	5,056	584	17,605	3,271	5,292	9,309
健康体力相談		—	—	—	204	—	—	—
合計		168,564	45,508	33,263	147,792	103,750	122,744	131,259

注：トレーニング室には説明会参加者を含む。なお、光が丘体育館の個人利用には屋内ランニングコース利用者を含む。

注：平和台体育館は大規模改修工事のため、平成21年8月から22年3月まで休館

注：桜台体育館は耐震補強工事のため、平成21年7月から8月まで休館

プールの利用状況

平成21年度

区分	施設名	平成21年度						
		石神井プール	三原台温水プール	平和台体育館温水プール	光が丘体育館温水プール	上石神井体育館温水プール	大泉学園町体育館温水プール	中村南スポーツ交流センター
		人	人	人	人	人	人	人
個人利用	幼児	0	4,438	1,090	6,535	1,738	2,924	7,739
	小・中学生	0	14,065	6,232	23,619	7,341	12,744	19,629
	大人	0	27,117	14,852	60,752	30,229	31,210	67,661
	高齢者	0	23,604	7,682	40,680	23,783	24,778	32,891
	心身障害者	0	1,363	487	2,282	1,277	3,066	3,031
	小計	0	70,587	30,343	133,868	64,368	74,722	130,951
団体利用		—	27,212	3,081	18,803	13,018	28,575	11,989
教室・大会等		0	1,211	151	4,512	2,009	1,593	5,090
障害者専用コース		—	656	236	1,499	934	1,266	1,124
合計		0	99,666	33,811	158,682	80,329	106,156	149,154

注：平和台体育館は大規模改修工事のため、平成21年8月から22年3月まで休館

注：石神井プールは石神井公園ふさと文化館の工事のため平成21年度は休場

●総合型地域スポーツクラブの育成

国の「スポーツ振興基本計画」（平成12年9月告示）では、21世紀の生涯スポーツ社会の実現を目指した地域のスポーツ環境づくりとして「総合型地域スポーツクラブ（練馬区の略称SSC）」の育成を重点施策としている。

その総合型地域スポーツクラブ（SSC）は、

- ・地域の人々が自主的に会費で運営する。
 - ・クラブの活動拠点となる施設を持っている。
 - ・複数種目の活動が楽しめる。
 - ・子どもから高齢者まで幅広い年齢層が交流できる。
 - ・クラブが主催するスポーツ事業が地域に提供される。
- などを特徴とした、今までになかった欧州型の地域スポーツクラブづくりを目指している。

区では、12年度から3か年にわたり、文部科学省のモデル市町村の指定を受け、総合型地域スポーツクラブを立ち上げ、積極的に育成・支援を行っている。

現在、7か所の区立体育館を活動拠点とし、会費制による自立的な運営を行っている。

総合型地域スポーツクラブ（SSC）平成22年3月31日現在

クラブ名 (通称名)	設立年月日	主催・共催 事業参加者数 (人)
NPO法人SSC谷原アルファ (SSC谷原)	平成14年 8月24日	22,171
NPO法人スポーツコミュニティー桜 (SSC桜台)	平成14年 9月 5日	6,001
NPO法人スポーツクラブホワイト 上石神井 (SSC上石神井)	平成14年12月17日	7,390
NPO法人総合型地域スポーツクラブ 平和台 (SSC平和台)	平成14年10月 4日	9,632
NPO法人光が丘総合型地域 スポーツ・レクリエーションクラブ (SSC光が丘)	平成14年 9月10日	7,946
NPO法人コミュニティネット SSC大泉 (SSC大泉)	平成14年 8月13日	50,678
豊玉・中村地域スポーツクラブ 「クラブプラッツ」(SSC豊玉・中村)	平成21年 2月21日	14,620

(4) 文化財と伝統文化を保存・活用・継承する

●文化財保護の推進

練馬区には、郷土の歴史を伝える有形、無形の多くの文化財がある。文化財は、先人の歴史・文化等の貴重な遺産であり、当時の人々の生活を理解するために欠かすことができない。また、歴史・文化の正しい理解は、将来の文化の向上、発展の基礎となるものである。しかし、都市開発の影響を受け、貴重な自然や文化財が消滅しつつある。

これらの文化財を守るためには、一人ひとりの理解と認識を高めることが必要である。区では、かけがえない文化遺産を保護・保存するとともに区民に紹介し、文化財に対する理解と認識の向上に努めている。

●文化財の指定・登録

練馬区文化財保護条例が昭和61年3月に制定された。条例に基づき、同年12月に学識経験者で構成された練馬区文化財保護審議会を設置している。

区指定・登録文化財は、保存・活用を図るために、区が事前調査を行い、文化財保護審議会の答申に基づき、所有者の同意を得て指定・登録される。

平成21年度は1件の文化財を指定し、3件の文化財を登録した。また、1件の登録文化財の解除をした。

※区内の指定・登録文化財については、234～235ページ参照。

●文化財保護推進員

区内の文化財の現況を把握し、区民に文化財保護思想の普及・啓発を図るため、昭和63年2月に文化財保護推進員制度を設けた。

区では、文化財の所有者を始め多くの区民の協力の下に、文化財の保護・保存を行っている。

●文化財保護のための主な事業

1 埋蔵文化財の調査・保存・活用

埋蔵文化財（遺跡等）は、開発行為による破壊の危険にさらされており、区では遺跡等の範囲の確認を行うとともに、その保護・保存に努めている。集合住宅建設などにより遺跡消滅の恐れがある場合は、発掘調査等を実施し、記録保存の措置をとっている。

平成21年度は、遺跡地で工事を行う届出が93件、通知が7件あり、遺跡の有無を確認するための試掘等82件、発掘調査は1件であった。

2 東京文化財ウィーク参加事業

「東京文化財ウィーク」は、東京都の呼びかけによる、国・都指定文化財の公開を促進する期間であり、21年度は、10月31日～11月8日までの9日間、区内5件の文化財（小野蘭山墓及び墓誌、尾崎遺跡、練馬白山神社の大ケヤキ、三宝寺池沼沢植物群落、石神井城跡及び三宝寺池）が公開された。また、つぎの企画事業を行った。

・文化財講座

「縄文時代を楽しもう！」を10月18日に開催。45人参加。

・「石神井城跡巡りと発掘パネル展」

主郭跡を特別公開し、城跡のミニガイドツアーや発掘調査パネル展示と解説を行った。

11月3日開催。476人参加。

・「尾崎遺跡出土品公開・解説会」

10月31日、11月1～8日に開催。48人の参加。

3 刊行物の発行

21年度は、つぎの刊行物を発行した。

・ねりまの文化財（年4回）

・埋蔵文化財調査報告24

・練馬区文化財あんない

4 文化財説明板、道標の設置

身近な文化財に対する区民の理解を深めるため、説明板などの設置を行っている。21年度は、新設2件、修繕2件を実施し、総数167件となっている。また、道標は29か所設置している。

5 文化財防火デー

昭和24年1月26日、法隆寺金堂壁画が焼損したことをきっかけとして、毎年この日を中心に全国的に文化財防火運動が行われている。

区では、各消防署と連携しながら、文化財愛護のPRに努め、平成21年度は、浅間神社、南蔵院、本立寺の3か所で、一斉放水の訓練を行い、706人の参加があった。

●尾崎遺跡資料展示室

春日小学校建設の際に調査した「尾崎遺跡」の資料展示室を、昭和58年、同小学校内に開設し、出土品約500点を展示している。平成21年度は延べ214人が来室した。

●石神井公園ふるさと文化館の開設

練馬区の伝統文化を生かし、新たな地域文化を創造するため、観光振興にも寄与する博物館機能をもった生涯学習施設として、区立石神井プール敷地（石神井町5-12-16）に平成22年3月28日に開館した。ギャラリーや会議室などの施設貸出しも行っており、創作作品の展示・発表や、様々な文化活動の場としても活用を図っている。

また、隣接の区立池淵史跡公園内に茅葺き屋根の民家として「旧内田家住宅」（練馬区指定文化財）を移築し、昭和戦前期の姿に復元した。建物内部も見学することができ、伝統行事などの催しも行っている。

なお、昭和45年以来、郷土の歴史や民俗を中心に、調査・研究等を行っていた郷土資料室は平成21年3月31日をもって閉室し、石神井公園ふるさと文化館に展示や資料閲覧などの機能を引き継いだ。

(1) 常設展

原始時代の土器などの出土品から、アニメーション

資料まで、練馬区の伝統文化にかかわる資料に触れたり、体験したりしながら、楽しく学べるよう展示している。

(2) 特別展

開館記念特別展「練馬区の博物館、美術館の共演」3月28日～5月16日

区内12館の博物館・美術館のコレクションから選りすぐりの一品を一堂に公開した。

(3) 多目的会議室等の貸出し

区民の文化活動の場として、多目的会議室、ギャラリー等の施設の貸出しを行っている。

ギャラリー 「照姫まつり写真パネル展」3月28日～5月9日

展示用ボックス 区民作品展示